

部活動などの活躍

《パソコン部》
第16回毎日パソコン入力コンクール冬大会
第6部和文B一般部門入賞



〇〇〇〇さん(3-1)、〇〇〇〇さん(3-2)
第5部和文A中学生部門入賞

〇〇〇〇くん(3-1)、〇〇〇〇さん(3-1)、〇〇〇〇くん(3-2)、〇〇〇〇くん(3-2)、
〇〇〇〇くん(3-2)、〇〇〇〇くん(3-3)、〇〇〇〇さん(3-3)、〇〇〇〇くん(3-4)、
〇〇〇〇くん(3-4)、〇〇〇〇くん(2-1)、〇〇〇〇くん(2-2)、〇〇〇〇くん(2-2)、
〇〇〇〇さん(2-2)、〇〇〇〇くん(2-3)、〇〇〇〇くん(2-3)、〇〇〇〇くん(2-3)

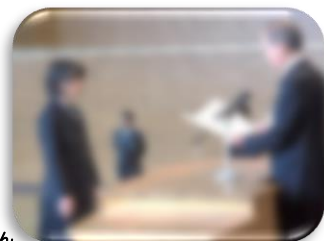
《日本漢字能力検定》

合格者
〇〇〇〇くん(3-1)、〇〇〇〇くん(2-2)、〇〇〇〇さん(2-3)、〇〇〇〇さん(3-4)、
〇〇〇〇さん(2-1)、〇〇〇〇くん(2-2)、〇〇〇〇くん(2-3)、〇〇〇〇さん(3-1)

《文化分野での受賞》
C.W.ニコル自然体験大賞 優秀賞
〇〇〇〇さん(2-4)



◀C.W.ニコル賞
受賞の〇〇〇〇さん



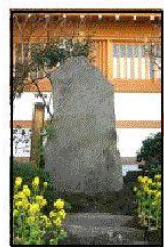
▶教育委員会褒賞
受賞の〇〇〇〇さん

荒川区教育委員会褒賞受賞
日本漢字能力検定2級合格、
図書館を使った調べる学習コンクール奨励賞受賞により
〇〇〇〇さん(3-4)

南千住マイスターのコーナー

南千住には多くの史跡・文化財があります。これらは、人の活動によってできたものであり、必ず人とのつながりがあります。南千住には歴史の教科書にも出てくるような、多くの歴史上の人物と関係が深い史跡や文化財があります。このコーナーでは、南千住の史跡・文化財と歴史上の人物を紹介していきます。

第一回は「松尾芭蕉」です。松尾芭蕉は誰でも知る「おくのほそ道」の著者であり、不世出の俳人です。生まれは伊賀で本名は忠右衛門宗房といひ、芭蕉は俳号です。芭蕉は江戸深川の採茶庵(さいとあん)同じ深川の隅田川沿いにあった「芭蕉庵」を船で出て、隅田川を遡り、千住で降り、長い旅のスタートをしました。この千住の地で、おくのほそ道の一番最初に詠んだ句が、素盞雄神社の境内の句碑にもある「ゆく春や 鳥啼き魚の 目は泪」。これが矢立てはじめの句です。芭蕉のこの長旅にかけられる思いが込められた一句といえます。旧暦元禄二年三月二十七日(新暦1689年5月16日)のことでした。芭蕉は弟子の河合曾良(そら)を伴い千住を出立したあと、日光・那須・白川の関・松島平泉・立石寺・羽羽三山・越後・越中・金沢・敦賀など、東北から北陸をめぐり岐阜の大垣まで、実に五ヶ月かけ約六百里(2400km)を旅して多くの俳句と紀行文を残しました。「夏草や 兵どもが 夢のあと平泉」「閑さや岩にしみ入る 蟬の声(立石寺)」「五月雨をあつめて早し 最上川(新庄)」「荒海や 佐渡によこたふ 天の河(越後出雲崎)」などは特に有名でよく知られた句です。芭蕉は「更科紀行」など、他にも多くの紀行文を残しましたが、おくのほそ道から帰って5年、元禄七年十月十二日「旅に病んで 夢は枯野を かけ廻る」という句を詠んで50年の人生を終えました。



素盞雄神社
芭蕉の句碑

南千住と歴史上の人物 その1 『おくのほそ道 松尾芭蕉』



題字:校長 齊藤 進



学校だより
平成29年4月
第73号
荒川区立南千住第二中学校



ナンちゃん・ニーくん

笑顔があふれ一人一人が輝く 学校をめざして

校長 齊藤 進

115名の新生を迎え全校生徒377名12学級で新年度をスタートしました。下記の学校経営方針(基本理念)のもとに教育活動を行いますので保護者の皆様にはご理解、ご協力をお願いいたします。

○ 基本理念
地域と一体となり笑顔あふれる学校づくりを学校経営の基盤とする。
(入学式式辞概要)

新生の皆さん入学おめでとうございます。
115名の新生はいろいろな個性をもっているダイヤモンドの原石です。その個性を磨き美しく輝くダイヤモンドになってください。そのためにはどうしたらよいか。
それは、「大きな子供ではない、小さな大人である」という自覚をもつことです。小さな大人とは、自分のことしか考えない人ではありません。相手をいじめたりバカにしたりする人ではありません。小さな大人とは相手の気持ちを理解する人であり、困っていたら助けてあげることができる人です。
本校の教育目標は、たくましい人です。たくましい人とは、大きな子供ではなく、小さな大人です。たくましい人は、青少年赤十字(JRC)態度目標の「気づき、考え、実行する」人です。電車に乗っていたらお年寄りや体の不自由な方に気づき、席を譲る。廊下にゴミが落ちていることに気づき、拾う。皆さんの先輩には、学校に来られ職員室や校長室がどこか戸惑っているお客様に気づき、案内する生徒がいます。
大きな子供ではない、小さな大人であるという自覚と気づき、考え、実行することを心がけて学校生活を送ることができれば必ず皆さんはダイヤモンドになることができます。がんばりましょう。

レスキュー部が世界に!

レスキュー部がThe Japan News(読売新聞社4月5日発行)に掲載されました。

(一部抜粋)・・・disaster management clubs began spreading in public junior high schools starting in the 2015 academic year. These clubs were inspired by a "rescue club" set up by Minamisenju Junior High School in the 2012 academic year. (防災部は2015年に公立中学校で広がり始めました。防災部は2012につくられた南千住第二中学校のレスキュー部がきっかけとなって活動が始まりました)・・・Mao Sekiguchi, 14, who became aware of disaster management after the Great East Japan Earthquake, said "When we visit elderly people, they always thanks us, and sometimes we talk for an hour. I want to be able to help them if we have a disaster." (東日本大震災後、防災に強い関心をもった関口真生さん14歳は「お年寄り宅を訪問するといつも感謝され一時間も話をする時があります。私は災害が起こった時はそうした人々の役に立ちたいと思います」と語った。)

訳 齊藤 進 校長

生徒会オリエンテーション

入学式の翌週、4月10日(月)5校時に生徒会オリエンテーションが行われました。入学と同時に全生徒が南千住二中学生徒会の会員となります。生徒会オリエンテーションでは、“生徒会活動とは何か”、南千住二中学生徒会スローガンや各専門委員会の活動内容が説明されました。

この会はそれと同時に、2,3年生と新1年生の「対面式」の意味もあわせもっています。2,3年生が校歌を紹介したり、入会の証に鉢植えの花が1年

生にプレゼントされました。1年生を代表して、〇〇〇〇くん(1-1)から上級生に会のお礼と入会の誓いのことばが述べられました。

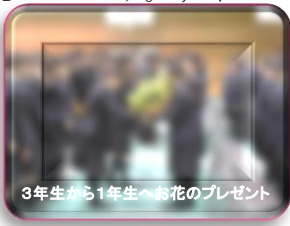
生徒会オリエンテーションの翌日には部活動説明会も行われました。1年生が楽しみにしていた部活動の説明です。各部の部長を中心に活動内容が説明され、1年生の仮入部が始まりました。



生徒会本部の皆さん



1年生代表〇〇くん



3年生から1年生へお花のプレゼント

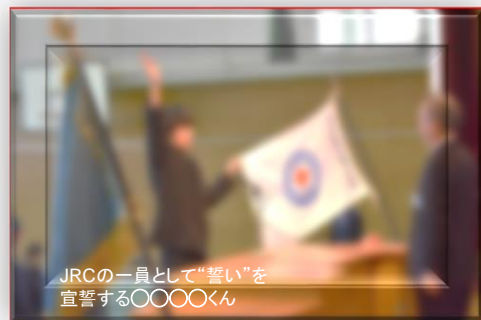
JRC 登録式

4月12日(水)には、JRC登録式が行われました。南千住二中は、JRC(Junior Red Cross = 青少年赤十字)に全校加盟しており、地域清掃やボランティア活動などに取り組んでいます。JRC委員会や学校の特色であるレスキュー部の活動もこのJRCの活動に深く関わっています。今年は講師として全国青少年赤十字賛助奉仕団の阿部先生をお招きして、JRCの精神や歴史についてお話いただきました。つづいて新入生のJRC登録式が行われました。生徒会本部役員の〇〇〇〇くん(3-3)の宣誓に続き全校生徒がJRCの一員である自覚をもつために「誓い」を唱和しました。

また、JRC委員長の〇〇〇〇さん(3-4)とスーパーレスキュー部副部長の〇〇〇〇くん(3-2)がそれぞれの活動報告をしました。昨年度レスキュー部は東京消防庁と(財)東京防災救急協会の主催による「防災シンポジウム2016」での事例発表をはじめ地域のさまざまな行事や防災活動に参加。JRC委員会では、ペットボトルキャップ集めに全校で取り組み、約7万個を集め、ポリオワクチン81人分を途上国に送ることができました。最後に、新たに登録された1年生を代表して〇〇〇〇くん(1-1)が、この日来賓としてお見えになった日本赤十字社東京都支部の能村さんからJRCバッジを授与されました。

東日本大震災から6年が経過した3月11日、3年3組 〇〇〇〇さんが担任との“やりとり帳”(日常の連絡帳)に記した文章を紹介します。

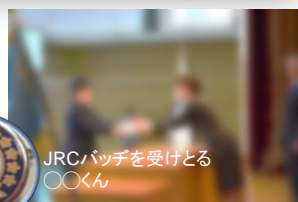
今日で東日本から6年がたちました。ふり返ってみると、とても短かったような気がします。この6年の間、日本は様々な事があり、良くも悪くもバタバタとしていました。そうすると、人間とは恐ろしいことにあの大きな震災の事を徐々に忘れていってしまいます。実際、私がそうでした。しかし、日本人には年に一度必ず3.11の事を思い返せる日があります。それが今日3月11日です。これからもどんどん東日本の事は風化されていってしまうと思います。だからこそ3月11日の一日は少なくとも、被災者の方に思いを馳せ、また同じ様な事が起こったとき、どのように行動すればよいか考えたいと思います。そしてこれからも被災者の方の分まで強く未来に向かって進みたいと思います。



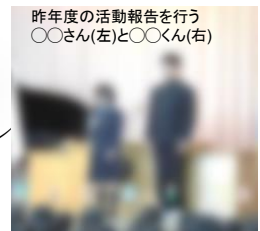
JRCの一員として“誓い”を宣誓する〇〇〇〇くん



講師の阿部さん



JRCバッジを受けとる〇〇くん



昨年度の活動報告を行う〇〇さん(左)と〇〇くん(右)

第28回卒業式

前年度、3月17日(金)は、南千住二中第28回卒業式でした。卒業式は中学校の儀式的行事の中でも3年間の集大成ともなる最も重要な行事です。卒業生も在校生も最高の卒業式にしようと練習に取り組んできました。

その練習の成果もあり、当日は整然とした中で、厳粛で感動的な式を行うことができました。卒業証書を受け取る姿は誇らしげで、凛々しくもありました。ご来賓の方々からのご祝辞や記念品を贈呈される卒業生代表〇〇〇〇くんの態度も立派でした。

卒業生代表・前生徒会長 〇〇〇〇くんの別れのことは、三年間の思い出を振り返ることからはじまりました。万感の思いが溢れ、久保田くんのことばは途中から涙声に…。楽しかった日々が鮮やかに蘇り、卒業生たちの目にも涙が溢れました。別れのことは「南二中で過ごした三年間、そして南二中を母校にできたことは私たちの喜びであり、誇りです」という感謝で綴られていました。また、最後には、保護者に向けた「将来大きくなったら親孝行しますから、もう少し甘えさせてください。いつまでも元気でいてください」という素直な思いの詰まった言葉に、壇上に立つ校長先生も、担任の先生方も、そして席で見守る保護者も涙をこらえきれませんでした。全校生徒による式歌「旅立ちの日に」(指揮; 〇〇〇〇さん、伴奏; 〇〇〇〇さん)、卒業生の「春に」(指揮; 〇〇〇〇くん、伴奏; 〇〇〇〇さん)で式は最高潮を迎えました。

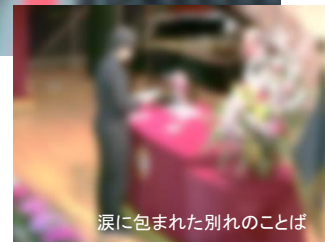
そして最後に、全校生徒全員による圧巻の校歌で卒業生を送り出しました。

平成28年度の卒業生は、男子39名、女子61名、計100名で、南千住二中の卒業生累計は2,546名となりました。卒業生の皆さんの一層の活躍をお祈りしています。

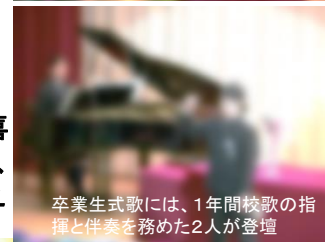
校庭に在校生、保護者が整列して、最後のお見送り。卒業生も在校生も涙に包まれました。



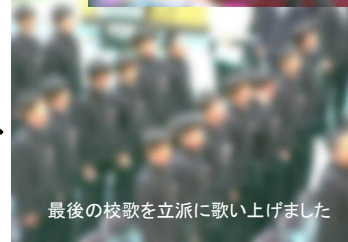
感動の卒業式



涙に包まれた別れのことば



卒業生式歌には、1年間校歌の指揮と伴奏を務めた2人が登壇



最後の校歌を立派に歌い上げました

卒業期表彰生徒

おめでとうございます!

荒川区教育奨励賞【努力の部】

〇〇〇〇くん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇くん

荒川区教育奨励賞【皆勤の部】

〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん
〇〇〇〇さん、〇〇〇〇くん、〇〇〇〇くん、〇〇〇〇さん
〇〇〇〇さん、〇〇〇〇くん、〇〇〇〇さん

体育優良生徒

〇〇〇〇くん、〇〇〇〇さん

東京都産業教育賞

〇〇〇〇くん、〇〇〇〇さん

JRCメンバー卒業表彰 功勞表彰

〇〇〇〇くん、〇〇〇〇さん

JRCメンバー卒業表彰 善行表彰

〇〇〇〇くん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん

始業式・第29回入学式

平成29年度の始業式が4月6日(木)に行われました。朝、新クラスが発表されると、同じクラスの友だちを見つけては手を取り合い、喜び合う生徒の輪がいくつもできました。3年生は春休みに転入生が入り、3クラスから4クラスに学級増。2年生は中1ギャップで1年時1クラス35人以内でしたが、2年生からは1クラス40人以内となり、5クラスから4クラスに学級減となりました。新しいメンバーで気持ちも新たにスタートした2年生、3年生。これからの1年でさらに‘たくましく’成長していくことでしょう。

新しく南三にいらした先生方



左より塩畑先生、武田先生、飯島副校長先生

始業式では、転出された先生につづき、新たに南千住二中に来られた教職員が紹介されました。さらに担任・副担任の発表があり、期待に包まれた歓声が上がりました。その後、校長先生から「小さな大人を目指そう」とお話があり、2、3年生の真っ直ぐに向けられた視線が輝きを増しました。始業式翌日の4月7日(金)には南千住二中第29回入学式が行われました。今年度の新生は、男子54名、女子61名、計115名の4クラス。

南千住二中としては開校以来はじめての全学年4クラスでのスタートとなりました。

式は大変厳粛に行われました。新入生入場では、誘導係の生徒会役員を先頭に、足並みを揃え、元気よく手を振り堂々と入場できました。会場からは笑顔と大きな拍手があふれ、すこし緊張気味な表情も晴れやかなものとなりました。ひとりひとりの名前が担任の先生から読み上げられる呼名では、会場に「はい」と応える元気な声が響き、南千住二中での新しい生活に対する希望が満ちあふれていました。式での起立や黙礼も初めてでしたが、朝の短い学活での練習だけでした。校長先生の式辞の中では南千住二中が全校加盟しているJRC行動目標である「気づき、考え、実行する」を新入生全員で唱和しました。

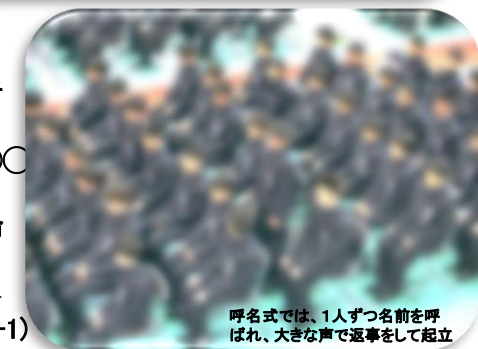
また、生徒会長 ○○○○さん(3-3)が「全力で勉強、部活動、行事に取り組み、一緒に充実した中学校生活を送っていきましょう」と歓迎のことばを述べ、新入生代表の○○○○さん(1-2)が「南千住第二中学校の生徒としての自覚をもち、今やるべき事は何かを考え、目標に向かって一生懸命進んでいきます」と誓いのことばを述べました。

新入生も2,3年生も大変立派な態度でした。また、式の終わりには、指揮 ○○○○さん(3-2)、伴奏 ○○○○さん(3-1)による、2,3年生の校歌(校歌紹介)がアリーナ(体育館)に響き渡り、厳粛な式の最後を南千住二中生としての誇りを胸に高らかな歌声で締めくくりました。

全校生徒377名。仲良く楽しく、そして前向きな学校生活を送り、より良い学校をつくっていきましょう。



入学式の様子



呼名式では、1人ずつ名前を呼ばれ、大きな声で返事をして起立



歓迎のことば



誓いのことば

教職員の紹介

新年度に伴い、教職員の異動がありました。これまで学校を支えてくださった先生・主事さん方ありがとうございました。

[転出] 副校長 松田公好 先生(荒川区立汐入小学校 校長へ)
音楽 野田智子 先生(荒川区立第五中学校へ)
養護 森下麻紀 先生(練馬区立石神井西中学校へ)

[新転任] 副校長 飯島和弘 先生(荒川区立第五中学校より転任)
国語 小林朋生 先生(期限付き)
養護 塩畑伸恵 先生(育休より復帰)
社会講師 橘 正人 先生
英語講師 小島 祐子 先生
心理専門相談員 三浦 寿美子 先生

平成29年度教職員一覧
よろしくお願ひします。

	職名等	担任	氏名	教科
	校長		齊 藤 進	経営
	副校長		飯 島 和 弘	経営
1 学 年	主幹教諭・1 学年主任	1 組担任	飯 田 朋 子	国語
	教諭	2 組担任	西 尾 洋 士	英語
	教諭	3 組担任	加 藤 青 覇	保健体育
	主任教諭	4 組担任	宗 広 優 子	美術
	教諭	副担任	水 村 英 美 子	家庭
	教諭	副担任	酒 井 和 彦	英語
	主任養護教諭・保健給食主任	学年所属	塩 畑 伸 恵	養護
2 学 年	主幹教諭・2 学年主任・進路指導主任	1 組担任	野 口 敦 広	社会
	教諭	2 組担任	末 永 佳 奈 子	保健体育
	教諭	3 組担任	笹 川 達 矢	数学
	主任教諭・生活指導主任	4 組担任	澤 田 真 樹 子	英語
	教諭	副担任	西 窪 秀 子	国語
	主任教諭	副担任	武 田 利 恵	音楽
3 学 年	主任教諭・3 学年主任	1 組担任	寺 岡 武	技術
	主任教諭・研究主任	2 組担任	門 脇 晃 子	数学
	教諭	3 組担任	宮 尻 し お り	社会
	主幹教諭・教務主任	4 組担任	中 陳 啓 司	理科
	教諭	副担任	小 林 朋 生	国語
	教諭	副担任	富 山 晃	数学
	教諭	副担任	長 田 利 子	理科
	事務主事・庶務主任	-	新 妻 輝 行	-
	用務主事主任	-	福 嶋 功	-
	用務主事	-	井 上 和 歌 子	-
	図書館指導員	-	上 原 樹 代	-
	非常勤栄養士	-	山 脇 路 子	-
	非常勤事務嘱託員	-	坂 間 浩 子	-
	臨時職員	-	金 宮 美 代 子	-
	臨時職員	-	笹 岡 博 明	-
	学校管理員	-	吉 良 瑛	-
	学校管理員	-	桂 田 武 夫	-
	非常勤講師	-	橘 正 人	社会
	非常勤講師	-	後 藤 太 一	数学
	非常勤講師	-	田 中 淳	理科
	非常勤講師	-	櫻 井 直 子	英語
	非常勤講師	-	小 島 祐 子	英語
	外国人指導員(NEA)	-	Jeff Gold (ジェフ・ゴールド)	英語
	スクールカウンセラー	-	松 井 洋 子	-
	心理専門相談員	-	三 浦 寿 美 子	-
	特別支援教育支援員	-	堀 内 淳	-
	特別支援教育補助員	-	清 宮 隆 行	-
	特別支援教育補助員	-	君 野 翼	-

他 情報教育支援員(巡回)、部活動指導員、給食調理員(長谷川フードサービス)